



学校だより

6月号



令和5年5月31日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

学校運営協議会

校長 榊原 一紀

5月1日に行われた2年生の遠足を皮切りに、個別支援学級の野島体験学習、4年生の上郷体験学習と校外に出る活動が始まりました。6月も5年生の足柄体験学習、3年生の遠足と続きます。これらの校外に出る学習を通して、児童には集団での行動の仕方などを学び、格好いい姿を見せてほしいと思っています。

5月9日（火）に学校運営協議会が行われました。「学校運営協議会」とは、地域と学校が連携・協働して子どもを育てる仕組みです。第1回の協議会では、学校の運営方針を共有するために、学校説明会と同じように「中期学校経営方針」を説明しました。学校運営協議会は今年度4回の協議を行います。授業を参観しての協議や保護者・児童アンケートを見ていただいたの協議などを今後行う予定です。

第1回の協議内容は次のようになっています。

【学校から】

- ・授業改善・・・めあてをもち、見通し・振り返りを大切に授業を行うこと。
- ・人権教育・・・あいさつを大切に、本校の特色であるなかよし活動で相手意識を育てること。
- ・健康教育・・・委員会の取組から、運動の大切さを知り、自ら体を動かす気持ちを育てること。
- ・自分づくり教育・・・まちや人とかかわりながら、まちに愛着をもち、自分を見つめること。
- ・いじめの対応・・・様々な取組から早期発見に努め、チームで取り組むこと。
- ・人材育成・・・学年を核として、横のつながりの中で、教員それぞれが力をつけていくこと。
- ・特別支援教育・・・ユニバーサルデザインの授業、個性の把握、情報共有を大切にすること。
- ・安全管理・・・安全研修から危険性を理解すること。安全な過ごし方の指導を継続していくこと。
- ・情報教育・・・タブレットの活用、情報モラル指導を充実、指導のスキルアップをさせていくこと。

【委員の皆様から】

- ・いじめのニュースがなくならないことを大変悲しく思っている。能見台南小学校でいじめが起らない対策をしてほしい。→いじめを認知したときには、いじめ対策委員会の開催を待たずにすぐに対応する。専任も含めてチームで対応する。加害者はいじめと思ってないことが小学校では多い。いじめと自覚させることから始める。